



平山 忠

新たな観光、教育旅行誘客は。

町 新しい事業展開を検討。

問 町は、観光誘客の一つとしてインバウンド誘客を推進する計画を立てたが、今後新たな客層として、県内外の大学と連携する考えは。

観光商工課長 教育旅行の誘致は実施しているが、新しい事業展開として、今後大学側へ働きかけを検討する。

問 インバウンド誘客対策で助成金を交付しているが、大学との連携に対しても助成する取り組みが出来るか。

観光商工課長 大学のゼミ、サークル団体が、町の宿泊施設に宿泊した場合、助成金を支給するモデル的な事業として話題性もあり、今

後検討する。

問 宿泊率を高める戦略が必要不可欠と思うが、町の考えは。

観光商工課長 今後、那須のすばらしさを協議会とともにアプローチし、経済効果を上げていく。

那須高原ベコまつり復活は。

町 前向きに検討。

問 友好都市を結んでいる会津美里町で開催したワイン祭りにおいて、高久町長は、「ベコまつりを復活しなければならぬ」とメッセージを発信したが、現実化する考えは。

町長 平成22年に、口蹄疫により牛の病気が蔓延したために、中止していた。今後は、会場にこだわる

ことなく、新しい形でベコまつりを開催できるように前向きに検討する。

問 ベコまつり会場については、余笹川河川敷公園や、小学校跡地を利活用し、町のイメージアップ、PR等も兼ねて開催すればと思うが、再度復活する考えは。

町長 会場については、適

地だと思う。

会津美里町でのイベントで町民が楽しんでいる風景を見ると、和牛の振興も含めて、畜産振興、町民との交流を目指し前向きに考えていきたい。



復活を願う那須高原ベコまつり風景